

Club BUSINESS FARMERS

『農業経営者』読者の会 会報

CONTENTS

定例セミナー第12弾!

定例セミナー第13弾!

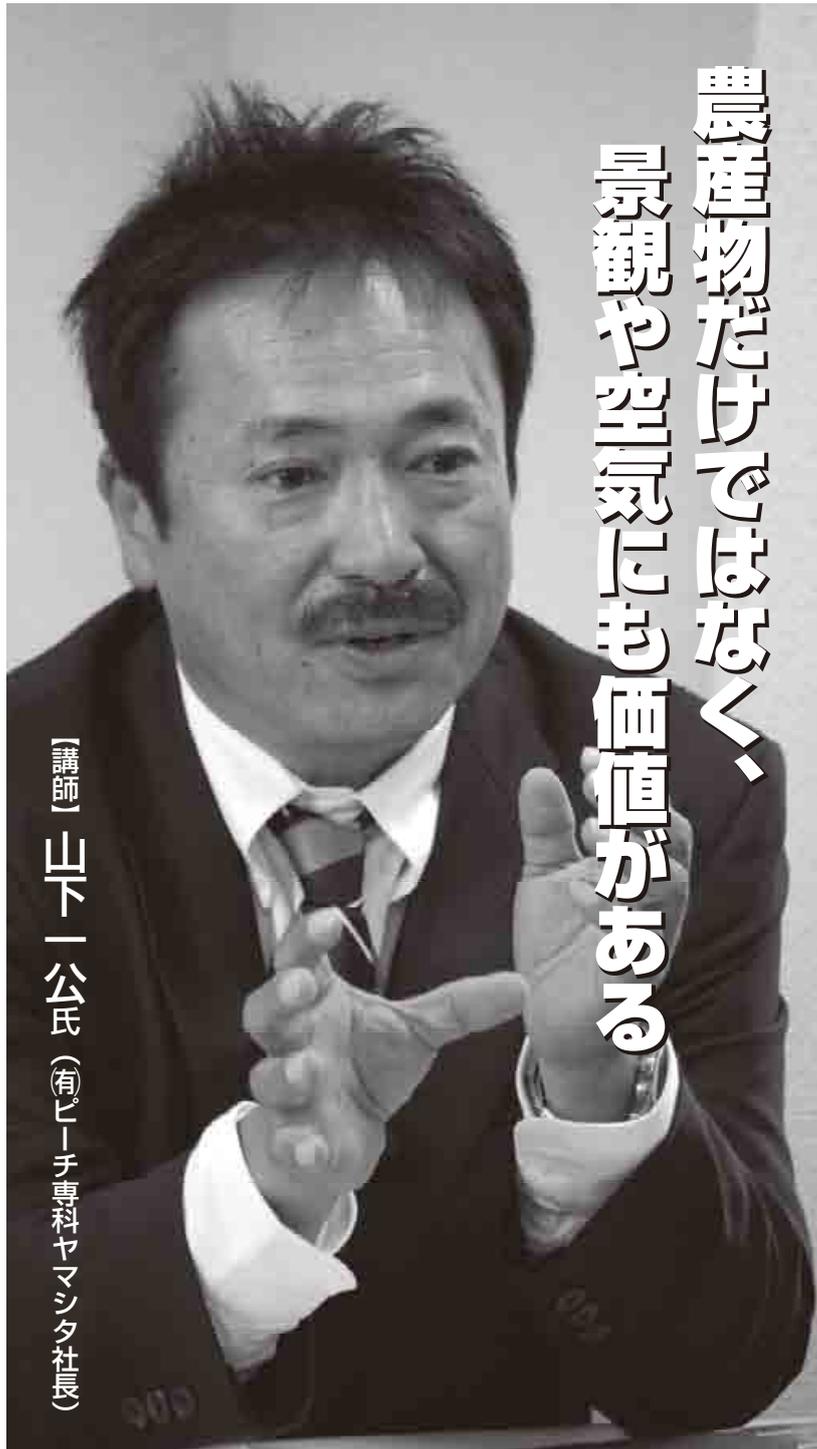
7~8月のセミナーご案内

6月の活動・参加申込書

Vol.10 2008年6月1日発行

■発行・編集/株農業技術通信社「農業経営者」読者の会事務局(担当:長谷川)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-18-25 康洋ビル9F TEL 03-3360-2697 FAX 03-3360-2698



【講師】山下一公氏(有)ピーチ専科ヤマシタ社長

農産物だけではなく、
景観や空気にも価値がある

定例セミナー第12弾!

「直販ビジネスの仕組みづくり〜いかに顧客を惹きつけるか?〜」

「価値の創造って言葉があります。農産物は今までモノとしての価値しかなかった。でも、それを作る農業にはそのほかの価値がたくさんあります。そこを自分達が認めて、価値として磨いて、お金に置き換えていく」

4月25日のセミナーでは、(有)ピーチ専科ヤマシタの山下一公社長が直販ビジネスの仕組みづくりを講演した。同社の桃の販売先は現在、約2万件の直

販顧客が中心だが、思わぬ所から声がかかることも多い。最近ではデパートのギフト用や、ネットショップにも出荷している。

「23年前はすべて農協出荷でしたが、大きさ・色・形・出荷時期だけで価格が決まってしまう。作り手としては非常に面白くない。どうしたら味を評価してくれるか考え、試しに2kgの化粧箱を作って販売したら、5kgの共選と

同価格で売れた。作り手の喜びはあったが、今度は農協の役員から叱られた。この経験から自分で売らなくてはだめだと考え、直販を増やしました。これがお客様との繋がりの最初です」

当時、自ら営業する農家は珍しく、直販の顧客は増えた。次の課題は、どうしたら毎年買ってくれるか。毎年安定した美味しいものを届ける技術力は当然として、その先が課題だった。

「今年まだ2年目ですが、大好評なのは『桃の木オーナー募集!!』です。1本5万円で売り出し、果実200個を

保証します。ただ収穫するだけのオーナー制ではありません。花の時期から始まって、花を摘む、実を摘む、袋をかける、袋をはがす、収穫するとう、5つの作業を体験してもらいます。手間隙かけた工程を経るからこそ、喜びがある。自分が作った桃で、より大きな収穫の喜びを提供するのが目的です。5万円は桃200個だけの価値ではなく、富士山を望み甲府盆地を見下ろす景観、美味しい空気の価値です。モノだけではなく、景観や空気といった価値をお金に換えてもいい」

同社のホームページを覗くと、なるほど食通で知られる有名タレントがオーナーになっている。

「加工品で桃ジュースも作っています

定例セミナー第13弾！

「できる農家のマネー術！〜私募債発行の仕組みと実践〜」

利払いが「現物」農産物とは面白い！

「社債ですから、書類には現金で支払う利息を明記する必要があります。ただし、利息を現金ではなく金利分に対応する「現物」で支給すると明記し、私募債購入者がそれを希望すれば、農作物で替えることもできます」

5月16日のセミナーでは、本誌でも

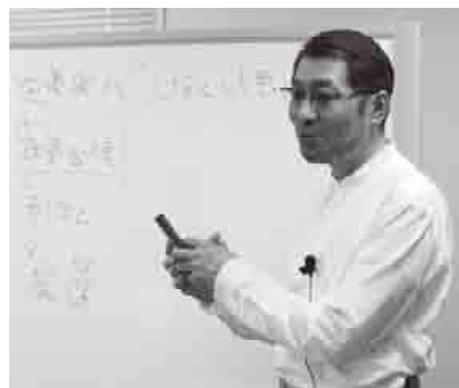
が、これは万人ウケしない商品です。市販製品のようにサラツとしてない、ドロドロしています。首を傾げる人もいれば、まるで飲むデザートのようにだと評価する人もいます。私はそこだと思っています。1億2千万人が認めなくても、価値を認めてくれる人に売ればいい。もちろん、商品の価値を自分で説明できないと売れませんけどね」

お客様に笑顔を届ける農産物を生産しよう、というのが同社の理念。山下氏の挑戦はまだまだ続く。

「モノを送るだけでない、第2の産直といったものを、今後もアイデアを出してやっていきたい。そして、ますます魅力的な農場にしあげていく。それがピーチ専科ヤマシタの目標です」

何度か掲載した少人数私募債について、農業経営者へのコンサルティング豊富な千葉エフピー協会組合代表理事の藤田秀一郎氏に解説して頂いた。

前半では、資金調達の方法として私募債とはどのようなものか、その仕組みや発行条件、発行方法などについて



「私募債を難しくとらえていたが、簡単なことが分り、メリットも分った」と参加者から。

て、レジュメとホワイトボードで説明。間接金融と直接金融の違いに始まり、金融機関等から借入をする場合や、株主として出資してもらう場合と、少人数私募債を発行する場合のメリット・デメリットを比較。さらに引き受け側のメリット・デメリットまで整理した。

後半は質疑応答。さらに実際に私募債を「フルーツ債」として発行し、金利はゼロにして金利相当の「現物」農産物で支給、同時に経営に対する顧客からの通信簿として位置づけた前回セミナー講師・山下氏の事例も紹介。農家ならではの活用法を紹介した。

セミナー終了後のアンケートには「私募債を難しくとらえていたが、簡単なことが分り、メリットも分った」と参加者からの反応も上々。農家の実践的な経営手法として、導入を検討したいという声も聞かれた。

招待券
プレゼント

アグロ・イノベーション2008 農業・園芸生産技術展

会期 2008年7月16日(水)～18(金) 会場 幕張メッセ

農業技術通信社はアグロ・イノベーション2008（農業・園芸生産技術展）に出展します。7月16日の第18回定例セミナーは、幕張周辺で開催！併せてご参加下さい。定期購読者には、同展の招待券をプレゼントします。

お問合せは読者の会 ☎ 0120-555-184(担当：並木) まで！

聴ける。

毎月開催される『農業経営者』読者の会定例セミナーが、本誌HPで聴講できるようになりました。農場の成長・発展に役立つ情報源として、人材育成の教材として、是非一度お試しください。

↓ いますぐアクセス

<http://www.farm-biz.co.jp/semi/>



2008年7~8月 定例セミナーのご案内

2008年8月8日 金 16:00~18:00

会場/株農業技術通信社内セミナールーム



「農場は人が創る」
〜農業でブランドをどう表現できるか〜
〔講師〕永井進氏
(有永井農場 専務取締役)

PROFILE●1971年長野県生まれ。酪農学園大学短期大学卒業後、20歳で就農。長野県東御市で酪農と稲作の複合経営に取り組みながら、従来の大規模経営とは異なる農場発展の可能性を模索している。若手ならではの農場づくりを綴った「永井進の農場スタイルノート」を、本誌にて好評連載中。

20歳で就農後、まず自主販売米のパッケージをデザインした永井氏。26歳で農場のコンセプトを形にした管理棟を建築。最近ではワイン文化の形成を意識したワインプロジェクト、小学校との稲作交流などの「農場づくり」から職業人の誇りを発信している。若手の「後継者」が挑む、新しい農場経営を語る。

2008年7月4日 金 16:00~18:00

会場/株農業技術通信社内セミナールーム



「必要なものを効率よく入れる施肥設計術」
〔講師〕関祐二氏
(農業コンサルタント)

PROFILE●1953年静岡県生まれ。東京農業大学において実践的な土壌学に触れる。75年より農業を営む。営農を続けるなかで、実際の農業の現場において土壌・肥料の知識がいかに不足しているかを知り、民間にも実践的な農業技術を伝播すべく、84年より土壌・肥料を中心とした農業コンサルタントを開始。

「土を調べて必要最低限の肥料を施す」――この基本技術を押さえているだろうか。土の中の成分を科学的に調べると、かなりの畑が尿素単肥や硝酸石灰の施用だけで健全で多収量になり、成分過剰害を抑えられる。この秋以降の肥料高騰を迎える前に、必要なものを効率よく入れる施肥設計を習得したい。

2008年8月29日 金 16:00~18:00

会場/株農業技術通信社内セミナールーム



「オカルト農法探検隊への招待」
〜科学的に解明できない農法教えます!〜
〔講師〕後藤芳宏氏
(農援隊代表)

PROFILE●1966年東京都生まれ。椿本チェーン社で生産管理システムのプログラマー、バイオニア・ハイブレッド・ジャパン社でファーティゲーションの開発営業、ケーアイ・フレッシュ・アクセス社での中国産地開発の担当、国会議員秘書を経て農援隊を設立。本誌にて「オカルト農法探検隊」を好評連載中!

科学的に解明できない農法を、まじめに追究する「オカルト農法探検隊」に読者をご招待。軍事目的に利用されていた言霊エネルギーを利用した農法とは? 天皇家に伝承されている秘術の農法とは? 斎庭稲穂の神勅に示されていた農業のあるべき姿とは? などなど、怪しすぎて活字にできないネタを大公開!

2008年7月16日 水 16:00~18:00

会場/未定 ※幕張周辺を検討中

アグロ・イノベーション2008
招待券プレゼント



「土地利用型から施設園芸へ」
〜シナジー効果のある複合経営の展開〜
〔講師〕佐藤彰一氏、他
(有米シスト庄内代表取締役社長)

PROFILE●1954年山形県生まれ。95年米シスト庄内乾燥調整利用組合を設立。98年販売のための法人である(有)米シスト庄内を設立。庄内米の生産・加工・販売から始めて、「玄米主義 すっぴん煎」の生産・販売、ブルーベリーの生産・加工事業に取組む。現在の経営面積はコメ93ha、施設園芸1140坪。

“自分の作ったものが誰に、どう食べられているか”を敏感に捕らえ、先駆けて高齢者マーケットに着目、お年寄りでも食べやすい玄米食品をヒットさせた(有)米シスト庄内。現在はコンテナ栽培の早出しブルーベリーなど、施設園芸にも展開中だ。「走る社長」佐藤氏が、シナジー効果のある複合経営を語る。

2008年6月28日 土 15:00~18:00

会場/四万騎農園(茨城県かすみがうら市)※詳細は申込後にご連絡します



**「豊かさや贅沢を売るビジネス
〜商品は栗ではなく、感性です〜」**
【講師】兵藤保氏
(四万騎農園)

PROFILE●1934年茨城県生まれ。父の代から栗一途に栽培する四万騎農園の経営者。通常の何倍もの堆肥を入れ、広い樹間で養分を競合させない栽培法で、高品質の栗を栽培している。栗はマロンジャム、ふくませ煮、渋皮煮、きんとんにも製品化。農園には大谷石の石蔵があり、芸術家の個展やコンサートを年10回ほど開催している。

現代は「質より価値」の時代へ移行している。ネットで「四万騎農園」を検索すると、入手するには現地購入しかない同農園のマロンジャムについて、愛好者たちのブログは絶賛の嵐だ。ファンたちは、何を求めて栗を買うのか? 最高級の栗を生む農場に訪問し「豊かさや贅沢を売るビジネス」の極意を聞く。

2008年6月9日 月 16:00~18:00

会場/株農業技術通信社内セミナールーム



**「(株)農業支援という会社を
なぜ作ったのか」**
【講師】堀内信介氏
(株農業支援代表取締役社長)

PROFILE●1977年学習院大学卒業後、トーカン入社。83年協和薬品(株)入社、取締役就任。98年(株)ケーアイ・フレッシュアクセス取締役副社長就任。2000年イーサポートリンク(株)取締役を経て、04年代表取締役就任。07年イーサポートリンクの子会社にあたる(株)農業支援代表取締役社長を兼任する。

(株)農業支援は「全ては農業生産者と生活者のために」という会社理念を掲げ、主たる事業として農産物の本格的マーケティング活動を柱に、農業経営者が価格決定権を持つことを支援するブランド販売会社事業の展開を図っている。同社の詳しい事業内容と、パートナーとなる農業経営者に求めるマーケティングの考え方について、堀内社長に直接話を聞く。

◎**セミナー参加申込**

■参加を希望する項目にして、必要事項をご記入下さい。

月刊『農業経営者』
定期購読者 **無料**

〈セミナー〉

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 6/9 (月) 堀内信介氏 (16:00~18:00) | <input type="checkbox"/> 参加 (18:00~20:00) |
| <input type="checkbox"/> 6/28 (土) 兵藤保氏 (15:00~18:00) | <input type="checkbox"/> 参加 (18:00~20:00) |
| <input type="checkbox"/> 7/4 (金) 関祐二氏 (16:00~18:00) | <input type="checkbox"/> 参加 (18:00~20:00) |
| <input type="checkbox"/> 7/16 (水) 佐藤彰一氏 (16:00~18:00) | <input type="checkbox"/> 参加 (18:00~20:00) |
| <input type="checkbox"/> 8/8 (金) 永井進氏 (16:00~18:00) | <input type="checkbox"/> 参加 (18:00~20:00) |
| <input type="checkbox"/> 8/29 (金) 後藤芳宏氏 (16:00~18:00) | <input type="checkbox"/> 参加 (18:00~20:00) |

※セミナー受講料は定期購読者無料、一般参加者 5,000 円です。
※セミナー終了後には、懇親会(会費別途)を予定しております。

◎**定期購読申込**

■いずれかにして、必要事項をご記入下さい。

- | | |
|--|---------------------|
| <input type="checkbox"/> 1年(12冊) 18,000円 | 送料サービス! |
| <input type="checkbox"/> 2年(24冊) 33,000円 | お得な3,000円割引! |
| <input type="checkbox"/> 3年(36冊) 48,000円 | お得な9,000円割引! |

◎**メールマガジン登録**

■下記にメールアドレスをご記入の上、メールマガジン登録にしてください。

◎**招待券請求**

アグロ・イノベーション2008 (2008/7/16~7/18開催)

◎**共同出展資料請求**

FOODEX JAPAN2009 (2009/3/3~3/6開催)

お名前	会社名 農場名	TEL
E-mail	<input type="checkbox"/> メルマガ登録	FAX
ご住所 〒		

お申込方法 FAX 0120-410-359 まで送信してください。
(『農業経営者』HP <http://www.farm-biz.co.jp/> からもお申込できます)

お問合せ/ (株) 農業技術通信社「農業経営者」読者の会 事務局 TEL 0120-555-184

※セミナーへの無料参加は、定期購読1件につき、1名様までです。2名様以上でお申込される場合、2人目より2,000円をいただきます。予めご了承下さい。